

舵輪

第161号
2020年春発行



舵輪は(公財)伏木富山港・海王丸財団の機関誌です

新型コロナウイルス感染症について

世界的に流行しております新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止のため、皆さまにおかれましては大変な日々をお過ごしのこととお察しいたします。まずは皆さまご自身の健康を第一とし、引き続き感染拡大防止にご留意の上、平穩にお過ごしくださいようお願いいたします。

海王丸では、総帆展帆等イベントの中止や海王丸を含むパーク内施設の臨時休館などの対応を図っています。急な予定の変更で海王丸ボランティアの皆さまにはご心配やご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、状況に合わせて臨機に対応していきますのでご協力よろしくをお願いいたします。

感染症拡大防止に
ご協力ください

<現在までの対応>

- ペンディングセール 中止
- 総帆展帆①②③ 中止
- 新規養成訓練①② 中止
- 鯉のぼり掲揚式・花の迷路開園式 中止
- GWイベント「ちびっ子天国」 中止
- 以下施設の臨時休館
 - 海王丸 (5月20日まで)
 - 日本海交流センター (5月20日まで)
 - 緑のパーゴラ休憩所 (5月20日まで)
 - 富山新港臨海野鳥園 (5月19日まで)
- パーク内遊具使用禁止 (5月19日まで)



<今後の対応>

5月31日までのすべてのイベントは中止となりました。6月1日以降については、状況を見ながら検討していきます。予定が決まり次第ホームページやFacebook、メール等でお知らせしていきます。

ホームページ：<http://www.kaiwomaru.jp/>

Facebook：「海王丸パーク公式ページ」を検索

<総帆展帆の中止連絡について>

感染拡大防止のため中止となった場合、メールアドレスを登録済みの方へは一斉送信でお知らせしています。登録されていない方は、下記アドレスへ①ボランティア番号②氏名を本文に記載して送信すると登録できます。

アドレス：by-the-wind@kaiwomaru.jp

※メールの受信ができない方で、返信ハガキにて「参加」予定の方には、郵送でお知らせします。

3月～5月の行事結果

船体整備期間

2月～3月にかけてマスト・ヤード、4月に船体外舷・係留鎖・乗下船口周辺の塗装工事を行いました。また船内では、実習生居住区後方の階段の補修工事や、船長浴室の配管工事なども行いました。海王丸も今年で船齢90歳となりましたが、海王丸を見学に来られた多くのお客様によく「綺麗だね」と言っていたいております。しかし、老朽化している部分も少なからず存在します。お客様に安心して船内を見学していただき、これからも「綺麗だね」と言っていだけるよう日頃の整備もしっかり行っていきたいと思います。



春の訪れ

毎年4月になると、海王丸パークには鯉のぼりと花の迷路が現れます。これに合わせて例年「鯉のぼり掲揚式・花の迷路開園式」を行っていましたが、今年は残念ながら中止となりました。鯉のぼりは5月5日のこどもの日まで掲揚され、花の迷路では小さなお子様だけでなく気晴らしに来られた大人のお客様もよく遊んでいます。

また、昨年実施された「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の一環で御製碑のそばに記念植樹された桜の木が花を咲かせました。まだ小さい木で花も少ないですが、多くの花を咲かせ、お花見ができるのを楽しみにしたいと思います。



今後の予定

6月14日	総帆展帆④ 中止	
7月 4日 5日	新規養成訓練③	
7月23日	満船飾・ミニ展帆・親子展帆体験	
7月26日	総帆展帆⑤	
8月 8日 ～10日 ※開催未定	海王丸公開30周年記念イベント	
	9日	ミニ展帆・親子展帆体験
	10日	満船飾・総帆展帆⑥
8月30日	総帆展帆⑦	
9月 5日 6日	新規養成訓練④	
9月20日 ～22日 ※開催未定	秋のファミリーフェスティバル	
	20日	総帆展帆⑧

※5月31日現在の予定です。状況により中止とする場合があります。

海王丸での展帆・訓練・公開について

5月14日、富山県は緊急事態宣言が解除となりましたが、富山県が発表している「新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる富山県対策指針」の「催物（イベント等）の開催制限」に基づき、3つの密を避けるのが難しいこと等を考慮して、**下記条件が揃うまでは総帆展帆を実施しない方針**となりました。

- 富山県が設定している「活動再開の基本方針とロードマップ」ステージ1の解除
- 全国の緊急事態宣言解除

総帆展帆への参加・不参加についての返信はがきは**通常通りご返送ください**。実施の可否については、その都度お知らせいたします。

また、**新規養成訓練**についても、上記と同様の理由のため、**上記条件が揃うまでは実施しない方針**となりました。

なお、船内一般公開については5月21日から再開しています。ただし、**甲板ボランティアによる船内案内は上記条件が揃うまでは休止継続**とします。再開可能になれば改めてお知らせいたします。

登檣礼については、総帆展帆が実施できるようになってから改めてご案内します。

退任の挨拶



会長
柳野 隆之
(やなぎの たかゆき)

平成28年7月から3年9か月間、会長を務めさせていただきました。皆様にはたいへんお世話になり、ありがとうございました。

海王丸パークでは、この3年ほどの間に、富山湾を見渡せる展望広場の設置や緑のパーゴラ中央休憩所のリニューアルなど、施設・設備の整備を進めていただき、昨年度の入込者数が、過去最高の120万人となりました。

海王丸につきましては、一昨年8月に乗船者数累計が200万人を達成し、知事にも出席していただき、お祝いすることができました。総帆展帆につきましては、ボランティアの皆様方のご尽力により、昨年4月には節目の第250回を迎え、これまでに通算256回実施いただいております。

また、海王丸は、一昨年7月に、現存する日本最古の練習帆船として「ふね遺産」に認定されるとともに、昨年6月には財団において「帆船海王丸物語」を刊行し、その歴史的・文化的価値や魅力を広く発信したところであります。一昨年12月にホームページで公開されたバーチャル映像とともに、今後、ますます人々を引き付ける人気スポットになっていくと思います。

私が以前、非常勤の会長をしていた平成25年1月には、海王丸パークを「恋人の聖地」に認定していただきました。こうしたことから、海王丸で本格的な式を挙げる船上結婚式が、平成25年から8組行われたところであり、平成29年からは、普段着の結婚式「幸せのベル結婚式」が、県内だけでなく、兵庫県や石川県、東京都などから来ていただき、9組行われました。また、一昨年に始めた婚活イベント「海王丸恋人フェスティバル」では、これまでに16組のカップルが誕生し、そのうち、昨年2月14日に誕生したカップルが、今年2月に入籍されたと聞いており、たいへんうれしく思っています。

このほか、新たに、福井県の三方五湖の近くにある恋人の聖地「レインボーライン山頂公園」と連携し、この4月から一新したホームページ等を活用して、お互いにPRしていくこととしています。

最後に、最近では6万人余だった海王丸の乗船者数が、昨年度は、6万9千人余と、大幅増となりました。これもひとえに、ボランティアの皆様、職員の皆様の努力の賜と心から感謝申し上げます。また、現在、新型コロナウイルスにより、ボランティアの皆様、職員の皆様には多大な負担感があると思いますが、この難局を皆様力が合わせて乗り切ってくださいよう、ご祈念申し上げます。



総務課長
藤田 和久
(ふじた かずひさ)

平成 29 年 4 月から 3 年間、大変お世話になりました。総務課長としてなんとかやってこられたのは、会長をはじめとした財団職員の皆様、海王丸ボランティアの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

この 3 年間を振り返ると、①海王丸パークの「恋人の聖地」と海王丸の「ふね遺産認定」にちなんだ「幸せのパワースポットシリーズ」の展開、②展望広場などの供用開始に伴うパークの管理体制の見直し、③海王丸の累計乗船者数 200 万人達成式典の開催、④新湊マリーナ施設拡張後の利益向上への取組みなど、様々な新しい業務に携わることができ、貴重な経験をさせてもらったと思っております。

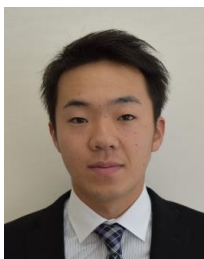
令和 2 年度には、現在、着々と準備が進められている「海王丸一般公開 30 周年記念事業」が開催されることになっていますが、この事業が成功裏に終わるとともに、これを契機に一層、来場者及び乗船者が増えることを祈念しております。

終わりに、海王丸パーク及び新湊マリーナの益々の発展、そして皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。



海事課 業務技師
掛野 洋二
(かけの ようじ)

3 月 31 日をもって海王丸財団を退職することとなりました。長いようで短い 5 年間、大変な事もありましたが海王丸と共に楽しませていただきました。今後 90 周年や 100 周年が無事迎えられるよう地元から応援しています。ありがとうございました。



海事課 技術員
大迫 裕慈
(おおさこ ゆうじ)

3 月末で当財団を退任し、練習船に復帰することになりました。この 2 年間は船体整備や操帆作業について新たな発見があり充実したものでした。練習船で富山へ寄港した時には立ち寄りしたいと思います。皆様、お世話になりました。



海事課 技術員
松尾 昇太郎
(まつお しょうたろう)

この度、2 年間の財団勤務を終えて船上勤務に戻ることにになりました。初めての陸上勤務で戸惑うこともあり

ましたが、ボランティアの方々や関係各所の皆様に温かく接していただけて感謝しています。どこかでまた会えることを楽しみにしています。

着任の挨拶



常務理事
吉川 禎
(よしかわ ただし)

4 月に着任しました常務理事の吉川です。2016 年 4 月から 3 年間、富山県土木部次長の職にあって、伏木富山港・海王丸財団の

評議員に選任されるとともに、ボランティアの集いに 3 年続けて出席させていただきました。このほか、微力ながら「帆船海王丸物語」の編集委員を務め、そして、2019 年 4 月から 1 年間は富山県会計管理者として当財団の監事を務めさせていただきました。

このようなご縁のお蔭なのか、当財団の一員となりましたことは、誠にありがたく光栄なことと思っております。

初代海王丸は、誘致にご尽力いただいた方々の熱意と努力が実り、富山県民の宝物になりました。初代日本丸と初代海王丸の姉妹、世に二隻しかない日本の宝が太平洋側の横浜と日本海側の富山で保存されることの奇跡と運命を感じます。

2018 年の 10 回目で幕を閉じたタモリカップ、最後の会場が富山と横浜であったことは必然であったと思っております。

海王丸パークは毎年百万人超の来園者があり、日本海側を代表する観光スポットです。海王丸は 29 枚すべての帆を張った姿がとても美しく、彼女に自慢の姿を披露してもらうには、ボランティアの皆さんのご協力が欠かせません。これまでの献身的な活動、本当にありがとうございます。皆さま、健康にご留意のうえ、今後とも総帆展帆の実施等のご協力をよろしくお願い致します。

また、海事課の皆さんには、海王丸の最高のコンディションの維持、海洋教室などの青少年の錬成・海洋思想の普及に努めていただいています。皆さんには富山におけるプロフェッショナルな活躍に敬意を表します。本県と海王丸のために協力を続けてくださる海技教育機構への感謝を忘れてはいけないと思っております。

今年は、1990 年の一般公開の開始から 30 年目にあたります。海王丸が人々に一層愛され、国内外の多くの方々に何度も訪れたいと思っただけのように、関係の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



総務課長
中林 勝敏
(なかばやし かつとし)

4月1日付けで富山県から伏木富山港・海王丸財団へ派遣となり、総務課長を拝命しました中林です。

3月まで、県水産漁港課で、主に「富山のさかな」のブランド化と販路拡大に係る仕事を担当しており、その関係で、富山湾の魅力について理解を深めることが出来ました。今回、また、富山湾の魅力を間近に感じられる当財団に配属され、大変やりがいを感じています。

海王丸パークでは、雄大な立山連峰と美しい富山湾、迫力ある新湊大橋を背景に、海の貴婦人と呼ばれる海王丸の優雅な姿を楽しむことが出来ます。また、海王丸パークは、「恋人の聖地」として選定されており、幸せのデートスポットとして様々な企画を展開しているほか、春の「ちびっ子天国」や秋の「ファミリーフェスティバル」など1年を通して様々なイベントが開催され、県内外から多くの方々が訪れる人気の観光スポットとなっています。昨年度は来園者数が120万人となり、平成4年の開園以来、過去最高になりました。

今後もこうしたイベント等を通じて、こうした素晴らしい風景・環境を広く発信し、より多くの方々に訪れていただけるよう、財団の皆様と力を合わせて頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



海事課 業務技師
高倉 富士雄
(たかくら ふじお)

3月に旧航海訓練所を定年退職し、4月より海王丸財団で勤務させて頂くことになりました高倉です。出身は高岡市で、平成2年4月に初回の財団勤務をさせて頂きました。身体が動く間は、しっかり船の整備等に励んでゆきたいと思えます。顔見知りの方もおられるかと思いますが、皆様どうぞ宜しく御願い致します。



海事課 技術員
押手 一師
(おして ひとし)

4月1日付けで着任しました、押手一師です。よろしくお願いいたします。15年ぶり2回目の富山勤務となり、今回は、子供も大きくなりましたので単身赴任での勤務となりました。久しぶりの陸上勤務となりますが、海王丸の見学に来て下さる人たちにきれいな船体を見てもらえるように、整備を頑張りたいと思います。



海事課 技術員
濱見 海世
(はまみ かいせい)

4月1日付けで海王丸財団にて勤務することとなりました濱見です。出身は鹿児島県で、寒いのが苦手な冬を過ごせるのか不安でしかたありません。そして一人暮らしをするのも初めてで不安もありますが楽しみでもあります。陸上勤務中は知識や技術をしっかり身につけ、私生活も充実した日々を過ごしたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

全く雪が降らずにのんびりとした冬を過ごしながら前号の編集をしていた時には「またいつものように忙しい春がやってくるのかな」と、総帆展帆や海洋教室、続々とやってくるイベントに目を回した昨年の記憶を思い浮かべるとともに、その目まぐるしさが懐かしく楽しみでもありました。しかし、コロナウィルスの影響で多くのイベント等が中止となりました。そんな日常を少しずつ取り戻していくため、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に筆者も努めていきたいと思えます。余談ですが、海王丸ファン（もとい親バカ）の母が「マスクが足りないじゃない？」と手作りの海王丸マスクを実家から送ってくれました。大昔に買った海王丸バンダナを使ったようです。「手持ちのマスクが無くなれば使おうかな」と思ってる内にマスク市場が回復してきたので、今は部屋に飾ってあります。



舵輪 第161号
発行日 2020年 6月
E-mail
by-the-wind@
kaiwomaru.jp

公益財団法人 伏木富山港・海王丸財団
〒934-0023 富山県射水市海王町8番地
TEL 0766-82-5181
FAX 0766-82-5197
URL <http://www.kaiwomaru.jp>